



魚津市役所

# 新庁舎整備だより



『第7号』

令和6年（2024年）7月 魚津市

## 第8回魚津市新庁舎整備検討委員会を開催しました！



今回の委員会では、令和6年度のスケジュールを確認するとともに、新庁舎に導入する機能や市庁舎の集約化について、庁内での検討結果を踏まえ協議を行いました。（詳細は市HPで公開している会議資料や議事録をご確認ください。）

## 新庁舎に導入する機能について

令和6年3月に策定した「魚津市新庁舎整備基本構想」において、基本計画での検討事項とした各種機能について、その導入の有無を検討しました。基本構想での区分に沿って、より詳細に導入機能の内容を整理し、協議しました。

検討事項としていた機能の多くは導入することとなりましたが、「ワンストップサービス専用の窓口」など一部の機能については、必要性や効率性の観点から、新庁舎への導入を見送ることとしました。



### 検討委員からの主な意見

- ・総合案内について、ロボット（ペッパーくん）も良いが、人を配置して欲しい。
- ・事業費の関係もあるため、機能の導入の有無だけでなく、優先度も検討していくべき。
- ・フリーアドレスはデメリットもあるが、ぜひ前向きに導入を検討して欲しい。

### 庁内での検討の様子

導入機能の検討にあたり、千葉県内の自治体への視察や、市役所若手職員有志によるワークショップを実施しました。



先進地視察



若手職員WS

# 市庁舎の集約化について

## 市庁舎集約化案の選定

市民サービス向上のため、分散した庁舎機能は集約することが望ましいという共通認識のもと、主に「施設の老朽化・耐震不足」や「将来の職員数」という視点から検討を行いました。

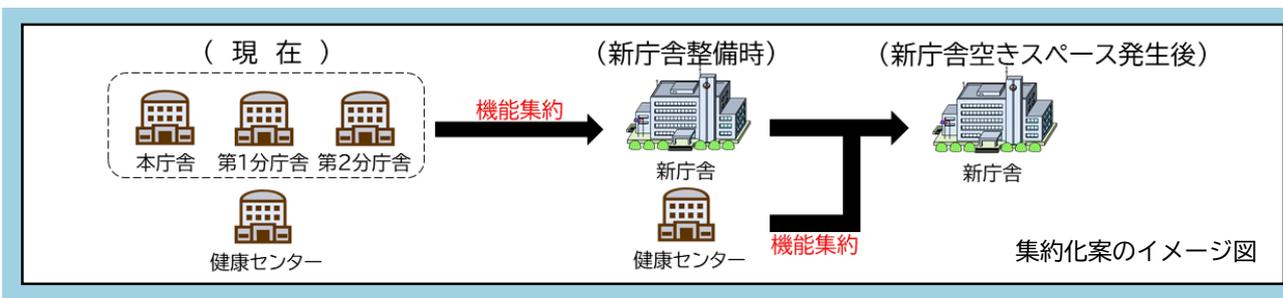
その結果、第1・2分庁舎及び健康センターの集約については「第1・2分庁舎は新庁舎整備と同時に集約し、健康センターは職員数の減少等により余剰スペースが発生した段階で集約する。」ことを基本として、今後の検討を進めていくことに決定しました。

### 施設の老朽化・耐震不足

第1・2分庁舎は本庁舎と同時期に建築されており、躯体の鉄筋コンクリートの耐久性が著しく低下していると想定される。執務室として使用し続けるには危険が伴うため、建替えによる対応が望ましい。

### 将来の職員数

人口減少の流れは今後も続くことから、将来的には職員数が減少し、必要な執務スペースも縮小すると考えられる。発生した余剰スペースの活用方法として健康センターを集約する。



## 整備規模・事業費について

集約化案について、整備規模を約6,500㎡、事業費を約71億円（※外構工事や設計、既存施設解体等の費用含む）と試算しました。試算は国土交通省の基準をベースとして、テレワーク等による延床面積への影響を想定しつつ、発注時の予想単価を用いて行っています。

なお、試算結果は現時点における仮の試算であり、今後の協議により「配置・平面計画」等の方針が決まり、新庁舎の概要が決定した段階で改めて事業費を算出する予定です。

## 検討委員からの主な意見

- ・こどもが庁舎内にいると市のイメージアップになるので、健康センターを新庁舎へ集約すべき。
- ・整備規模をコンパクトにできないか、レイアウトを考える際の検討要素として欲しい。



【ご意見・お問い合わせはこちらまで】

〒937-8555

魚津市釈迦堂一丁目10番1号

魚津市役所 総務部 財政課 新庁舎整備室

T E L : 0765-23-1088 (直通)

E-mail : uozu-shinchosha@city.uzu.lg.jp



市HP  
新庁舎整備